中小企業政策実行検討小委員会 取りまとめ（柱立て）

１.「成果までとことんやる」体制つくり：政治の役割

２.「よろず」に行けば大丈夫：ユーザーからわかりやすい支援体制の整理

(1) よろず支援拠点

□「経営支援＝よろず」を常識化

□アクセシビリティの向上

□人材確保・育成の取り組み

□現場から国へのフィードバック機能の規定

(2) 商工会・商工会議所・中小企業団体中央会など

□地域全体の経済に対する責任をリードする存在へ

(3) 認定支援機関

□位置づけの明確化と絞り込みへ

３．支援策の見える化を積極的に進める：「ミラサポ」の充実・周知

４．今後の継続的検討課題

(1) 現在顕在化している課題への対応について

(2) 中小企業･小規模事業者政策の対象の明確化

(3) 長期見通しに基づいた、中小企業･小規模事業者政策の KPI 設定